

Lessons of the Past



過去の教訓

詩編78:3~4

わたしたちが聞いて悟ったこと／先祖がわたしたちに語り伝えたことを。

子孫に隠さず、後の世代に語り継ごう／主への賛美、主の御力を／主が成し遂げられた驚くべき御業を。

今週の詩編の学びでも、

①神は、困難な状況(人間の反抗や不忠実等)にあっても、変わることなく、ご自身の御業を行われ、罪人を悔い改めに導き、救い出そうとくださっておられる(私たちはどんな状況であっても神を信頼し、讚美し、礼拝する)、そして②誠実なる神とその恵みに感謝し、神を賛美することを教えています。



詩編(=聖書≡過去の教訓、歴史history)の教え

- ✓ **神への信頼と希望**: 詩編は神への信頼と希望を表現し、困難な状況や苦難に直面しても、神に対する信頼を失わずに進むことの重要性を示しています。
- ✓ **神への賛美と感謝**: 詩編は神の偉大さ、恵みを称賛し、神に感謝することの重要性を強調しています。
- ✓ **神との関係の重要性**: 詩編は神との親密な関係の重要性を説いており、神との交わりを通じて豊かな生活を送ることを助言しています。
- ✓ **忍耐と希望**: 詩編は苦難や試練に直面する人々に対して忍耐と希望を持ち続けるように勧めます。
- ✓ **悔い改めと赦し**: 詩編は時に、罪を犯した者が悔い改め、神からの赦しを求める姿を描き、神の恵みと赦しの偉大さを示しています。
- ✓ **愛と正義**: 詩編は愛と正義の価値を強調し、神の道に従うことの重要性を説いています。

これらは、当然、現代の私たちにも適用されます。私たちは困難な状況に直面しても、信仰、希望、愛、正義などの価値観を大切にすることが求められています。

詩編は、いろんな場面で、私たちに励ましと指針を提供してくれます(→指南書、羅針盤、ファロス)。

詩編78:1

【マスキール。アサフの詩。】わたしの民よ、わたしの教えを聞き／わたしの口の言葉に耳を傾けよ。

BLUE LETTER BIBLE
HELP QUICKNAV ADV. OPTIONS
Verse or Word(s) KJV
KJV CLICK TO CHANGE
RETURN TO TOP
LINK CITE THIS
SHARE FOLLOW PRINT
COPY COPY OPTIONS STRONG'S RED LETTER
Lexicon :: Strong's H4905 - *maskîl* Aa
Sponsors
PARTNER WITH THE BLB (DISCLAIMER)
Search Results by Book

マスキール מַשְׁכִּיל = 教訓的な詩 ⇒ 失敗から悟る = 13編

Strong's Definitions [?]

(Strong's Definitions Legend)

מַשְׁכִּיל maskîyl, mas-keel'; from H7919; instructive, i.e. a didactic poem:—Maschil.



イスラエルは、神が彼らのためにしてくださったことを忘れ、神を信頼せず、神を試み(詩編78: 18、41、56)、神に反抗し、神の律法と契約と証を守らなかった(同78: 10、37、56)。

歴史の中でイスラエルが拒絶されたのは、一つの中心的な罪、すなわち、民が主を信頼しなかったことに起因すると暗に伝えています(同78: 7、8)。

詩編を読むとき、主の限りない忍耐と恵みとは対照的に、民の絶え間ない頑固さと霊的盲目さに圧倒されます。

私たち(新しい各世代)は、どうしてこんなに物覚えが悪いのでしょうか。

神の誠実さを常に意識し、神の恵みを受け入れることに根拠を置かない限り、人間の意志が無益であることを示している。

神の民が破れた戦い(詩編78:9、62-64)は、神への忠実さから離れた人間の努力は失敗に終わる運命にあるという詩編の教訓を明らかにしている。



キリストは、ご自身と彼に従う者との間の関係について永遠の聖なる真理を語られた。イエスは、イエスの弟子と称する人々の性格を知っておられ、イエスのみことばは彼らの信仰を試みた。イエスは、彼らがイエスの教えを信じてこれを実行すべきであると宣言された。イエスを受け入れた者はみな、イエスの性質にあずかり、その品性に一致するのであった。このことは彼らの心に宿っている野心を放棄することを意味した。そのためには、イエスに全的に献身することが必要であった。彼らは、自己犠牲的で、柔和で、心のへりくだった者となるように召された。彼らは、いのちの賜物と天の栄光にあずかる者となりたければ、カルバリーの人イエスの歩まれた狭い道を歩まねばならない。

(希望への光 P.872 各時代の希望 第41章 ガリラヤにおける危機)

御霊の働きによって悔い改めた罪人は、「汚れた衣」「古い(古き)人」を脱いで、罪の赦しを授かる「信仰による義認」を経験した後すぐに、「清い衣」「新しい人」を着て、キリストの義を受ける「信仰による義」を経験する(ゼカリヤ 3:1~5、エフェソ 4:22~24、コロサイ 3:9b~10)。

信仰による義認 justification by faith

= justification by faith in Christ's righteousness キリストの義にあっての信仰による義認

汚れた恥ずべき不義をキリストの血によって、キリストに取り除いてもらい、その不義を負っていただくこと

= 悔い改めた罪が赦されて、罪がないとされること。

→ヨハネの黙示録 7:14

そこで、わたしが、「わたしの主よ、それはあなたの方がご存じです」と答えると、長老はまた、わたしに言った。「彼らは大きな苦難を通して来た者で、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである。」

信仰による義 righteousness by faith

取り除かれた不義の代わりに与えられるキリストの義を受け入れること

= 赦された罪人がキリストの義で覆われて、義とされること。

人間が自らの“nothingness(無・無価値さ)”を見るとき、その人はキリストの義を着させてもらう備えができるのである」(Series A No. 9、321 頁)。

私たちが罪を告白して真に悔い改める時、主は私たちの罪を赦して取り除いてくださり、再びキリストの義をお与えになられます。…すると、自分の心、意志、精神、思いをすべてイエスさまに喜んで捧げることをせずにはいられなくなります。これが「キリストの義の衣を着る」ということです。

義認



義



聖化

justification by faith in Christ's righteousness
キリストの義にあつての信仰による義認

信仰による義認および信仰による義は、どちらも人間の功績によるものではなく、キリストが十字架で払われた贖いを信じる信仰によってのみ与えられる無償の賜物である。

信仰による義認および信仰による義の賜物を受けた結果、罪深い品性が徐々にキリストに似た品性に変えられていき、律法への完全な従順であるキリストの義が、信仰の実として日々反映されていく。



この漸進的な経験が聖化(きよめ)で、この過程は生きている限り続き、再臨まで生き残る人の場合は、この聖化の過程は恩恵期間が終了するまで続く。

主の裁きは全地に及ぶ

His judgments are in all the earth !

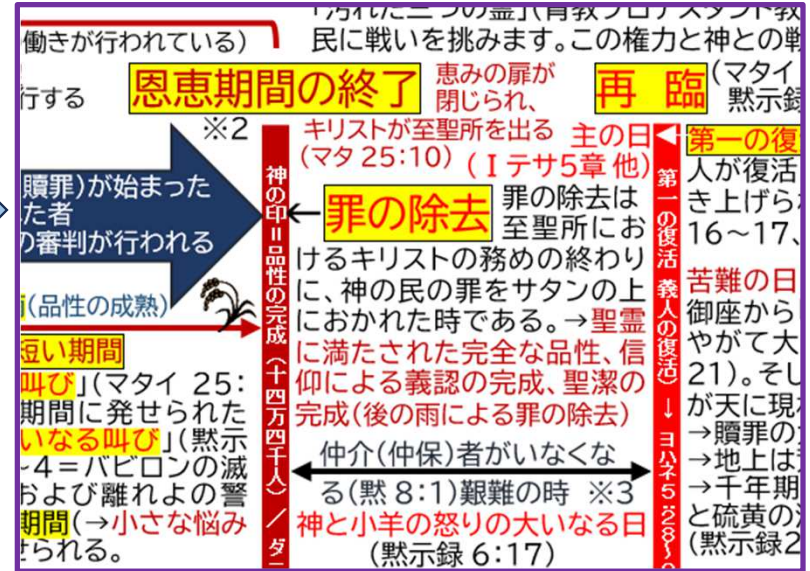


神の裁き：**①義人の救い/幸福**
②悪人の滅び/敗北

the judgement of God
his judgements

		聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) 【検索語彙：主の裁き・神の裁き】
タイトル(書名)	章:節 聖句	〔検索対象総数：5 / 聖句等の総数 33250 (主の裁き)2個 (神の裁き)3個〕
K 歴代誌上	16:14	主はわたしたちの神/主の裁きは全地に及ぶ。 He is the LORD our God; his judgments are in all the earth.
K 詩編	105:7	主はわたしたちの神/主の裁きは全地に及ぶ。
S □ローマの信徒への手紙	2:3	このようなことをする者を裁きながら、自分でも同じことをしている者よ、あなたは、神の裁きを逃れられると思うのですか。
S □ローマの信徒への手紙	3:19	さて、わたしたちが知っているように、すべて律法の言うところは、律法の下にいる人々に向けられています。それは、すべての人の口がふさがれて、全世界が神の裁きに服するようになるためなのです。
S □ローマの信徒への手紙	14:10	それなのに、なぜあなたは、自分の兄弟を裁くのですか。また、なぜ兄弟を侮るのですか。わたしたちは皆、神の裁きの座の前に立つのです。

【略図】神の救いの計画 (教皇至上権の終焉から新しい天と新しい地までのフローチャート)



神の印か、
獣の刻印か

熟した穀物と熟したぶどう

➤熟した穀物 (ヨハネの黙示録 14 : 14~16)

➤熟したぶどう (ヨハネの黙示録 14 : 17~20→不義なる者の裁き)

また、別の天使が天にある神殿から出て来たが、この天使も手に鋭い鎌を持っていた。すると、祭壇のところから、火をつかさどる権威を持つ別の天使が出て来て、鋭い鎌を持つ天使に大声でこう言った。

「その鋭い鎌を入れて、地上のぶどうの房を取り入れよ。ぶどうの実は既に熟している。」

そこで、その天使は、地に鎌を投げ入れて地上のぶどうを取り入れ、これを神の怒りの大きな搾り桶に投げ入れた。搾り桶は、都の外で踏まれた。すると、血が搾り桶から流れ出て、馬のくつわに届くほどになり、千六百スタディオン(→4[イスラエルの東西南北]×4×10×10÷300km)にわたって広がった(→神の裁きは全地に及ぶ)。

→救われる人々が刈り入れられる場面(ヨハネの黙示録 14:14~16)の一方、黙示録 14:17~20 には、再臨の時に起こる、別の刈り入れが描写されています。18 節に「その鋭い鎌を入れて、地上のぶどうの房を取り入れよ。ぶどうの実は既に熟している」とあり、この刈り入れは、熟したぶどうの実に例えられています。ちなみに、日本語訳の“熟した”は、NKJV では“fully ripe”とあり、正確な日本語訳は“完全に熟している(=完熟)”となります。19 節「…地上のぶどうを取り入れ、これを神の怒りの大きな搾り桶に投げ入れた」とあり、神の激しい怒りで満ちた最後の七つの災い(黙示録 15 章~16 章)によって、滅んでいく人々だとわかります。

熟したぶどう 獣の刻印を受けた人々。彼らの品性も完全に熟すが、サタンのような不義を行なう汚れた者になり、永遠に滅ぼされる。

熟年へのメッセージ

—輝く秋を迎えるために—

エレン・G・ホワイト著

第1章再臨運動の先駆者たち
先駆者たちのことを忘れないように

神への忠実さから離れた人間の努力は失敗に終わる！

…克己(→自分の欲望や邪念にうちかつこと)と犠牲によって前進させてきた人々を、神は祝福してこられました！彼らは学ぶべきことが多くあり、過ちもし、常に指導と助言が必要でした！

しかし彼らはいつも感謝していました！それは、お金もなく設備もな

くても、働きは前進してきたからです！働きを成功させるために全力を注ぎ、働きを適切に発展させるのに必要な建物を次々と建て、そしてどんな状況のもとでも主が導いてくださいました！

あとになって働きに入った人たちは、すべての準備が整っているのを見て、主と、自分たちの前に働いた人々とに対する負債を、払おうとする(→思いを果たしていく)姿勢がなければなりません！そのために新しい地域に入り、すべての国民、部族、国語、民族に真理を伝えるよう努めねばなりません！…先駆者たちのことを覚え、その豊かな経験から今日の働き人たちは働きを次々に前進させていくことを学び、神の御業の中で聖霊によって示された方法に従い、御言葉の中に命じられた原則に基づきつつ、新しい伝道地域に積極的に働きを進めていくべきです(世界総会公報』1900年、第3期、164ページ)！



9人の詩編記者

[検索語彙 : ダビデの詩。] [検索対象総数 : 73 / 聖句等の総数 33250] (新共同訳)

[検索語彙 : エドトンの詩。] [検索対象総数 : 1 / 聖句等の総数 33250]

[検索語彙 : コラの子の詩。] [検索対象総数 : 11 / 聖句等の総数 33250]

[検索語彙 : アサフの詩。] [検索対象総数 : 12 / 聖句等の総数 33250]

[検索語彙 : ソロモンの詩。] [検索対象総数 : 2 / 聖句等の総数 33250]

[検索語彙 : エタンの詩。] [検索対象総数 : 1 / 聖句等の総数 33250]

[検索語彙 : ヘマンの詩。] [検索対象総数 : 1 / 聖句等の総数 33250]

[検索語彙 : モーセの詩。] [検索対象総数 : 1 / 聖句等の総数 33250]

[検索語彙 : 貧しい人の詩。] [検索対象総数 : 1 / 聖句等の総数 33250]

詩編は、神の力強い救いを通じて神を称賛しています。詩編は、過去の神の働きを通して、今も救われることへの信頼を強めます。

私たちは神の民の一部で、彼らの過去から学び、日々、神の計画に従う必要があります。

■名詞	スコア	出現頻度
彼ら	926.24	300
すべて	103.73	103
とこしえ	60.20	86
御名	59.50	85
喜び	191.57	83
ダビデ	56.70	81
我ら	291.84	77
裁き	47.60	68
セラ	298.56	66
救い	143.33	65
人々	77.15	64
恵み	234.66	59
感謝	43.65	55
賛美	259.60	54
賛歌	37.10	53
指揮者	247.25	52
御前	35.70	51
イスラエル	130.28	43
諸国	135.77	42
栄光	109.89	40
災い	153.65	40
怒り	40.30	38

■動詞	スコア	出現頻度
くださる	376.70	605
慈しむ	77.00	110
逆らう	60.20	86
救う	116.06	75
求める	57.67	72
向かう	56.71	71
見る	3.21	71
守る	46.96	65
従う	170.43	64
与える	63.00	63
させる	51.93	60
歌う	17.91	59
聞く	8.11	59
言う	2.07	56
喜ぶ	42.34	50
もつ	24.40	47
知る	6.64	46
行う	10.79	46
語る	23.58	46
憐れむ	32.20	46
ささげる	31.50	45
行く	1.87	45

■形容詞	スコア	出現頻度
高い	22.86	77
深い	31.04	50
正しい	38.37	44
貧しい	138.38	40
よい	1.39	23
固い	30.61	18
力強い	27.11	15
乏しい	46.31	15
良い	0.33	14
むなしい	42.00	14
遠い	4.58	13
清い	49.50	13
強い	0.72	12
大きい	1.24	12
美しい	0.68	7
空しい	4.90	7
弱い	0.74	6
広い	0.89	5
鋭い	3.89	5

 User Local AIテキストマイニング

詩編をテキスト・マイニングした結果

神の律法は、神ご自身と同様に、神聖なものである。それは、神の意志の啓示であり、神の品性の写し、神の愛と知恵の表現である(希望への光 P.27、人類のあけぼの 第4章 エデンの園の悲劇)。

神の律法は、神のみこころの啓示であり、神のご品性の写しである(希望への光 P.1805、各時代の大争闘 第25章 預言に現れたアメリカ合衆国)。

➤マタイによる福音書 22:36~40(マルコによる福音書 12:28~31、ルカによる福音書 10:25~28)

(モーセ五書を研究するある律法の専門家が尋ねた。)
「先生、律法の中で、どの掟(→聖書協会共同訳:戒め、口語訳:いましめ、以下同じ)が最も重要でしょうか。」

イエスは言われた。「『心を尽くし、精神(→聖書協会共同訳:魂、以下同じ)を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』

これが最も重要な第一の掟である。

第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』

律法全体と預言者※1は、この二つの掟に基づいている。」

➤ヨハネによる福音書 15:10

わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。

➤ヨハネの手紙二 6 節

愛とは、御父の掟に従って歩むことであり、この掟とは、あなたがたが初めから聞いていたように、愛に歩むことです。